



祝!! 高山本線全線開通80周年

旅を結び、生活を結び、人々を結び、思い出をありがとうございます。これからもよろしくお願ひします。

高山本線のあゆみ

大正8年に工事が着工され、昭和3年から昭和8年にかけて飛騨金山駅―飛騨小坂駅間が順次開業されました。そして、昭和9年10月25日、15カ年の歳月を要して岐阜―富山間が全線開通となり「高山本線」と命名されました。高山本線の全線開通により飛騨が産業や観光に世の脚光を浴び、地元の人々にとっても生活するうえでとても重要な路線となりました。

昭和33年には、準急「ひだ」号が運転開始し名古屋―富山間を約5時間で結び、昭和43年には、特急「ひだ」号が名古屋―高山―金沢間で運転を開始し、翌年には全車両ディーゼル運転へと変わっていきました。そして、平成元年に、座席を高く窓を広くした快適な乗り心地の新型特急列車「ワイドビューひだ」号が登場し名古屋―高山間を最速2時間9分で結びました。

そして、今年、高山本線は全線開通80周年を迎えました。





▼昭和43年 特急ひだ運行開始



▼昭和3年 飛騨金山駅開業当時



▼昭和5年 下呂駅開業記念式典



▼昭和20年代後半 小坂駅貯木場



▼昭和31年 萩原駅開業25周年

「ちょこっと
インタビュー」
下呂駅長の矢島一さんにお聞きしました



父親が国鉄職員ということもあり、駅員は憧れの職業でしたと矢島さん。

若い頃は運転士を務めてみえ、高山本線は桜や紅葉など四季折々の景色が素晴らしいので、その中を運転することがとても気持ちよく、いい思い出となっているそうです。

「高山本線は、岐阜県になくはない存在。下呂市民の足を守りたい」、「社員一同で下呂市ならではの雰囲気や真心の込められたおもてなしを続けていきたい」と、熱い思いも語っていました。

「11月23日には飛騨金山駅を発着にしたJRさわやかウォーキングを地域の人達と協力して催すので、多くの市民の方達にも参加して欲しい」と、これからも高山本線を地元の人たちと一緒に盛り上げ、100周年、200周年と祝えることを願う矢島駅長でした。